



# INDONESIA MISSION

発行：日本福音教会(JEC) インドネシアミッション

〒662-0896 西宮市上ヶ原六番町2-42 西宮福音教会内 Tel：0798-51-5100

郵便口座：00970-3-313875 「インドネシアミッション」



6月29日行なわれたATI神学校卒業派遣式

インドネシア・カリマンタン宣教のためにお祈りと支えを心より感謝いたします。

私はこの8月にいつものようにインドネシアに行く予定でしたが、コロナ禍のために行けなくなりました。今までインドネシアに行けるのを当然のように思っていたのですが、今回「当然と思っていた事は当然ではないのだ」と実感しました。そして日常の些細な事も含めて「全てのものは神様からの恵みである」と改めて神様に感謝させられています。イエス様はタラントのたとえを話されましたが、私達が当然のように使っている時間、動かしている体の諸部分、能力、人との交わり、何かの機会など、全ては神様から私達に預けられており、そして全てに「時」がある事を覚えます。世界宣教の為に、そしてインドネシア宣教のために、今預けられているものを、今開かれている時に用いていきたいと願われます。



インドネシアミッション代表 高橋 めぐみ



## スルートウンバワン村・学校の近況（グロリア寮Ⅱ）

インドネシアミッション編集委員 富浦 信幸

スルートウンバワンの学校は、5月末に卒業試験、進級試験が無事に終了しました。休みが明け、7月13日から新学期がスタートしています。しかし、コロナ禍により学校はオンライン授業。子どもたちはそれぞれの村に帰り、自宅から携帯電話を用いてオンラインで授業を受けています。グロリア寮Ⅱには、現在、電波が弱くて在宅で授業を受けられない子ども達のみが残っています。えっ？スルートウンバワンでオンライン授業？そうです！スルートウンバワンにも、インターネット回線が引かれたのです！これは本当にすごいことで、ただただ主に感謝します！寮の子どもたちは勤勉です。よく勉強します。先日、嬉しいニュースが入ってきました。西カリマンタン州からの奨学金を受けるための試験に9名の子どもたちが推薦されました。結果は、なんと全員合格！9名が州からの奨学金で、ポンティアナクの高校に入学しました。全員が合格したことで、寮の子どもたちも村の人々も驚いています。同時に大きな励みになりました。出発前、みんなで祝福を祈り、9名を送り出しました。オンラインでの授業に加え、寮の舎監やスタッフが毎日、デポジション動画を子どもたちに送り、霊的訓練も続けて行わ

れています。コロナ禍にあっても寮の子どもたちが知的にも霊的にも成長し、将来に夢と希望を抱き、主と共に歩んでいけるよう、続けてお祈りください。



寮で勉強中の学生たち



### カリマンタン島西部地図

## プニティ・アナスタシス教会

インドネシアミッション代表 高橋 めぐみ

昨年の8月に長年の祈り課題であった教会の土地証書を取得しました。そしてその事によって隣家との境界線がはっきりしたので、教会の周囲に塀を設置することができました。フレンキー牧師家族は教会の中に住んでいますが、防犯の意味とプライバシーの面で、この塀の設置は師の長い間の願いでした。

塀設置後の動画を見ると、塀に囲まれた庭の中で、教会の子ども達が水遊びを楽しんで歓声を上げていました。プニティ教会の成長の鍵は子ども達であると思いますが、益々多くの子ども達がこの教会に集まり育って行って欲しいです。

それから今年2月に、大学生のシャウリン姉が礼拝の準備の為に、バイクで教会に向かっている途中にトラックに衝突される事故に遭いました。頭蓋骨の正面が陥没して、鼻の下から顎の骨が2つに割れる大けがでした。皆様にお祈りしていただいてきましたが、祈りはきかれて奇跡的な速さで回復し、右目も失明とされていたのが見えるようになり、お医者さんも「信じられない」と言っています。

ゆがんでいた顔も元のかわいい顔に戻りました。そして、頭の大けがでしたので、大学での学びを続けられるかと心配していましたが、この8月から復学できるようになりました。ハレルヤ！お祈りありがとうございました。



完成した塀と唐辛子の木

## コロナ禍での村の状況

グントウンバワン村出身 エモン兄より

インドネシアでのコロナ感染拡大は、一向に歯止めがきかない状況にあり、経済への影響も大変深刻です。エモン兄は、スルートウンバワン村より、さらに奥地のグントウンバワン村出身で、アンジュンガンの高校を卒業し、今はエンティコンの大学で体育教師を目指しています。グントウンバワン村に住む人々の収入源は、収穫した生姜や唐辛子、ターメリックなどを、国境を越えて隣国マレーシアまで行って販売した売り上げでした。しかし、新型コロナウイルスにより国境が封鎖され、瞬く間に経済的打撃を受けるようになりました。エモン兄によると、収穫した農作物は売れないため、今は種だけを取る作業をしているようです。グントウンバワンに限らず、村の経済はどこも非常に深刻です。エモン兄も、経済的問題で大学を卒業できるか、とても頭を悩ませています。彼の夢は、小学校3年までしかない村の学校に戻り、教師として教え、またクリスチャンとして、村の子どもたちを救いに導くことです。

このニュースレターをお読みの愛する皆さん、どうかインドネシアの経済のため、特に村の人々の生活のためお祈りください。加えて、エモン兄が無事の大学を卒業し、夢を叶えることができるようにもお祈りください。



マレーシアとの国境(マスク未着側がインドネシア)

## アンジュンガン (ATI 神学校)

インドネシアミッション委員 東 聖士

6月29日、ATI神学校において卒業派遣式が行われました。卒業派遣式は当初6月上旬に行なわれる予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で日程の変更を余儀なくされ、例年は大々的に行なわれますが、今年はスタッフと学生、そして学生の家族だけの卒業派遣式となりました。列席者が少ない式となりましたが、恵みと希望に満ちていたそうです。卒業派遣式の数日前に、以前から交流があった何人かの卒業生にSNSで連絡を取りました。「学校での一番の思い出は？」という質問をすると全員「人格形成、そして献身の準備をさせて下さった時間全てです」と回答したことが印象的でした。座学はもちろん、草刈りや作業も含め、生活すべてが有意義な学びであることを、彼ら自身が受け取る姿に感動しました。

卒業生は故郷、全く別の地方、教会、施設、●族への伝道のために新しい働きなど、様々なところへ派遣されていきます。このようにして主のあしあとを辿る者が起こされ、福音のバトンをつなぎ、広がっていくのでしょうか。彼らのこれからの歩みに祝福があるようにお祈りください。



按手の祈り



卒業生の一人デン姉(プニティ教会出身)



# コロナ禍の日本在住インドネシア教会員

高橋めぐみ

日本にもATI神学校卒業生が4組7人いますが、彼らは東京、大洗(茨城)、愛知、大阪のインドネシア福音教会(主任牧師は安海靖郎師)の牧師で、もう十数年以上日本で奉仕しています。インドネシア福音教会の教会員には日本に仕事で来ている人、研修生、留学生などがいますが、今回外国人はコロナ禍でどのような状況なのか心配になり、愛知インドネシア福音教会のセバステアン師に様子を聞いてみました。セバステアン師は私がインドネシアに行った時に初めて教えたクラスの学生で、旧エンティコン・グロリア寮にも週末奉仕に通って(片道240km)くれています。

セバステアン師によると、コロナの影響で職を失い帰国した人、またインドネシアに一時帰国して日本に再入国できなくなった教会員はいるが、教会員の数は思ったほど減っていないという事です。正社員の方は自宅待機でも給料の60%は支払われ、日本人と同じように日本政府から援助もあり、健康保険もあるので何とか大丈夫ですが、経済的に大変なのは仕事を切られた派遣社員とアルバイトがなくなった大学生だという事でした。また、看護師は非常に忙しいという事で、状況は日本と同じようです。教会の場所によって教会員の構成が変わりますが、大阪インドネシア福音教会(アユブ師)は、留学生が多く集っているので、経済的に大変な若い人が多いようです。また、インドネシアはコロナによる死亡率が高く、特に都市部で感染が広がっているので、本国にいる家族の事を皆がとても心配して祈っているということでした。外国に住む、というのは大変な事です。日本にいる外国の方々事も覚えたいと思います。



大阪インドネシア福音教会のメンバー

## グロリア寮Ⅱ舎監の証し

フェルナンド兄

シャローム！私の名前はフェルナンド・サハット・パルリアンです。北スマトラ島のシボルガという町で生まれて、バタク族の5人兄弟姉妹の長男として育ちました。ATI神学校を卒業するまで、日本から奨学金支援を受けた神学生の一人です。皆様のご支援をありがとうございました。

初めに、高橋めぐみ先生と日本の皆さんに、そしてヘルマヌス師に、私が1年の伝道実習の時と合わせて、二度にわたってグロリア寮Ⅱで奉仕する機会を与えてくださった事に本当に感謝いたします。神学生の頃、アンジュンガンでの宣教祈り会で高橋めぐみ先生に私の見た幻をお話したことがありました。それは高い山々や家に人々が居て、私は子供と一緒に森へ行くという幻でした。そこはとても美しい所で、建物の内装さえも綺麗でした。今考えると、これは神様のご計画であったと思います。

神学校の卒業を目前にした時、神学校より卒業後の奉仕先(お礼奉公)の発表がありました。同級生たちと一室に集っていましたが、「フェルナンド・サハット・パルリアンの奉仕先はスルートウンバワンのグロリア寮Ⅱ」と発表された時、皆が笑いました。そして「がんばってな、ナンド」「僻地はナンドにぴったり！携帯電話の電波がないからね」などと言われました。学生達にとって、派遣先がスマトラやジャワやスラウェシやパプアなどのカリマンタン島の外だったら、皆は感嘆の声を上げますが、スルートウンバワンって聞いたら、笑いました。何故でしょうね。しかし、神様の力のおかげで、グロリア寮Ⅱでの奉仕を通して私は沢山の事を見る事ができました。そして奉仕とはこんなに広いものなのだと、目が開かれました。私はスルートウンバワンで、主のしもべは謙遜でなければならない事、逆境に負けない力、実践力、労苦を惜しまない事、そして評価されなくても構わない心を学びました。

スルートウンバワンでの3年間の奉仕で忘れられないのは、川にしても、バイク道にしても、交通路のコンディションの酷さでした。バイクで橋を渡っていて下に落ちてバイクの下敷きになったこともありました。夜中にタイヤがパンクし、土砂降りの中急勾配な山道を重いバイクを押していかなければならない事もしばしばありました。途中で空腹になり、川に潜って魚も捕りました。バイクから落ちて右足を怪我し、化膿して足に穴が開いた事もあります。毎日の生活の中でも変なプライドを捨てる事を学びました。地域の人に野菜や鶏を売り、村の文化に従いました。霊的な面でも、私は沢山の機会があり、また実践する(生きた模範となる)ように導かれました。これらの事はこれからの働きのためにもとても良い学びでした。イエス様に本当に感謝しています。

スルートウンバワンの寮の子供達を指導する事は、掌を返すように簡単な事ではありません。戦略やプロセスが必要です。ある時は羊飼いと羊のように寄り添い、弟子訓練し、模範を示し、助けてあげなければなりません。彼らの外の世界は誘惑に満ちており、その誘惑は容易く子供たちの中に入り込み、彼らを引きずり落としていくからです。

寮生達の中には、日本から奨学金支援をいただいて高校またその次へと進学できている者たちがいます。私は教育は、彼らの未来を変えていくと信じています。なぜなら教育や知識は彼らの生き方を変える助けになるからです。

今日まで祈りと献げ物によって、私達舎監を誠実に助け、気遣ってくださり、支援し続けてくださった日本の皆様に心より感謝します。私個人の事を言いますと、スルートウンバワンでの3年間の奉仕を今年9月5日をもって終えることになっています。今日までの支えを本当にありがとうございました。退職後は、私は結婚する予定です。コロナが収束して、今年11月20日に結婚式を挙げる事が出来るように、どうぞお祈りください。結婚後は2年間、中部カリマンタンに位置する超教派の教会で、2人で奉仕しながら妻となるユニタ・A・コリーと2年間の修士課程(神学)を学ぶ予定にしています。そしてその後はGMII教団の牧師・講師になろうと思っています。今までの寮の舎監としての経験はこれからの牧会の働きに繋がっていくと思います。



右がフェルナンド兄

# — 祈りのリクエスト —

## ATI神学校

- ◎コロナ禍の中での神学生の訓練と学びのために。スタッフの祝福のために。
- ◎新年度7月に入学してきた24名の新生のために。
- ◎6月末に卒業した卒業生の働きのために。プニティ教会出身のデシはサンガオ県（西カリマンタン）の教会で、グロリア寮Ⅰ出身のドミアヌスはパプアのYPPH支部で奉仕をスタートしています。

## 3つの学生寮共通

- ◎コロナ禍の状況で3つの寮の舎監達に知恵が与えられるように
- ◎オンラインでの寮生たちへの霊的指導のために。
- ◎携帯電話を使って授業を受けている子供たちの学力のために。

## エンティコン・グロリア寮Ⅰ

- ◎エンティコン・グロリア寮建物正面の雨どいをうまく設置できるように。
- ◎寮生は77名になりました。台所の増設のために。

## スルートゥンパワン・グロリア寮Ⅱ

- ◎舎監のフェルナンドの結婚と退職後の歩みのために。新しく舎監として赴任するフィカルのために。
- ◎結核にかかった寮生ウラの癒しのために。
- ◎政府の道路工事とグロリア寮Ⅱの後ろの土地への移転計画はコロナで頓挫しています。主が最善に導いてくださるように。
- ◎マレーシアとの国境封鎖のため、寮生の出身村の経済が悪化しています。主が必要を満たしてくださるように。

## ブンカヤン・ベラカ寮

- ◎ベラカ寮の土地と建物がこれからさらに宣教のために用いられるように。
- ◎ベラカ寮の補修工事（屋根、梁など経年劣化部分）のために。

## 奨学生

- ◎教師、看護師、牧師を目指している寮の卒業生たちの必要が日々満たされるように。誘惑から守られ、霊性も守られるように。
- ◎卒論に取り掛かっている、ネリ、エモン、スインに助けがあるように。
- ◎バダットラマ村に診療所を開く夢を持っている看護学

生ドノの為に。ポンティアナックの大学に編入して学びを続けます。

## プニティ・アナスタシス教会

- ◎華人中高生たちの家族が救われるように。
- ◎新教会役員に助けと知恵が与えられるように。教会の経済の祝福のために。
- ◎フレンキー牧師家族を教会員がしっかり支えていけるように。

## 沿岸部族の働き

- ◎名前を挙げて祈っている人達の救いのために。
- ◎●族伝道のためのミッションハウス計画が進んでいくように。
- ◎伝道者ハリジョ家族の必要がいつも満たされるように。

## その他

- ◎カリマンタンへの宣教師（長期・短期）が起こされるように。

インドネシアはここにあります♪



ワンポイント豆知識♪

インドネシアはアメリカ本土と東西の幅がとほほ同じです(約5000km)

## 胡椒奨学金プロジェクト

胡椒プロジェクト担当 伊藤勝利



胡椒の木

インドネシアの子ども達の奨学金を支援する胡椒プロジェクトにご協力くださり、ありがとうございます。昨年スタートした時には、予想していた以上のご協力をくださり、3名の子ども達のサポート出来たことを心から感謝しています。今年も4月に支援の募集をする予定でしたが、コロナウイルスの影響により中止せざるを得なくなりました。再開については、今後の状況を見ながらの判断とはなりますが、現段階では10月頃にサポート窓口を再度開きたいと願っています。様々な活動を休止せざるを得ない現状ですが、支援している子ども達の状況も大変な状況が続いています。このような中でも支援を続けることが、今の私たちに出来る最善と考えて、何とか再開したいと願っています。今、世界中で、医療従事者の皆さんへ感謝しよう、という運動が広がっていますが、支える人と支えられる人の心がつながる時、そこに大きな力が生まれます。私達も、このような時だからこそ、絆を強くし、ともに乗り越えていきたいと願っています。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。



「インドネシアミッション」会計報告 (2020年3月1日～2020年6月30日)

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
一般献金	1,884,330	JEC海外宣教部へ	80,000
ATI神学生奨学金指定献金	226,000	活動費・ATI神学生他援助	1,500,000
プニティ・エンティコン指定献金	40,000	草刈り機指定	20,000
大学生奨学金	45,000	個人指定	144,000
個人指定	24,000	ニュースレター印刷代・発送費	82,712
草刈り機指定	20,000		
ベラカ寮	20,000	事務・雑費等諸経費	600,582
収入合計	2,259,330	支出合計	2,427,294
2月末残高	3,708,201	繰越金	3,540,237
合計	5,967,531	合計	5,967,531

毎月の現地支援金額内訳  
(2020年3月～6月の月平均)



グロリア寮Ⅱの舎監ヘルマヌス家に  
第二子チオ君誕生！

支援先	金額(円)
エンティコン・グロリア寮Ⅰ	62,216
スルートウンバワン・グロリア寮Ⅱ	55,598
ブンカヤン・ベラカ寮	49,333
ATI神学校	53,931
高校生支援	63,795
大学生支援	30,194
●族★族支援	50,439
プニティ・アナスタシス教会	7,508
アンテオケ館維持費	11,133
特別献金(土地購入、プロスコネオ高校生寮改修費援助)	89,250
通信費・銀行手数料	1,826
合計	475,223

※今回からクリスチャンパートナーズ、胡椒プロジェクトよりの奨学金、一教会または一個人から個人指定されている奨学金、支援金も含めてご報告させていただきます。

編集後記

先日、グロリア寮Ⅱ舎監のヘルマヌス兄とチャットでコミュニケーションを取りました。8年前は道がなく、航路しか交通手段がなかったこの村にインターネットで連絡出来ることに驚きました。世界は近くなりました！

インドネシアミッション委員 東 聖士